

ストレス検査実施報告49%

義務化1年目 怠った企業、法令違反

2016年12月に施行された改正労働安全衛生法に基づき、従業員50人以上の企業・団体に年一回の実施や報告を義務づけられたストレスチェック(SC)について、義務のある県内の企業・団体約2600のうち、16年末までの実施を労働基準監督署に報告したのは1300弱にとどまっていることがわかった。対象企業の半数が法令に違反しており、長野労働局は「今後、指導を徹底する」としている。

県内企業・団体のストレスチェック状況

従業員規模	2016年中の実施報告数(A)	14年現在の企業・団体数(B)	報告率(A+B)
50~99人	696	1718	41%
100~299人	470	740	64%
300人~	124	172	72%
合計	1290	2630	49%
(参考)健康診断	2250	2630	86%

※健康診断の報告数は概数

16年中に実施された県内のSCの状況を詳しく見ると、受検機会を与えられた従業員のうち、実際に受けたのは16万6143人(対象従業員の84%)に上った。健康診断と異なり、SCは従業員側が法律上の受検義務はないが、8割を超えている人がSCを受けていた。

受検率84% 16万6143人
医師面接 わずか0.68%

一方、SCを受検した人で、医師による面接指導を受けた人は1336人(0.68%)だった。SC義務化に向けた国の検討会で委員を務めた東京大医学部の川上憲人教授(精神保健学)は、84%の受検率を「1年目としては高い」とえる。「受検は任意」と労働者が理解してもらった上で、割合がさらけ上がるのが望ましい」と評価する。医師による面接指導については「ハードルが高い職場は依然多い」と思われるが、企業団体での(周知方法を工夫したり、面接以外の手段で高ストレス者をケアしたりして、SCを生かす必要がある」と指摘している。

SCと同じく労基署への報告が義務づけられている一般健康診断では、現時点で約2250の県内企業・団体(50人以上)が16年中の実施を報告しており、SCの低さが際立つ。長野労働局は「長野県内のSCの未報告、未実施は従来業への安全配慮義務を23日頃までに終える予定。その後、機体を約500台離れた駐車場までヘリでつり上げ、保管場所へ運ぶ」としている。

SCと同じく労基署への報告が義務づけられている一般健康診断では、現時点で約2250の県内企業・団体(50人以上)が16年中の実施を報告しており、SCの低さが際立つ。長野労働局は「長野県内のSCの未報告、未実施は従来業への安全配慮義務を23日頃までに終える予定。その後、機体を約500台離れた駐車場までヘリでつり上げ、保管場所へ運ぶ」としている。

SCは仕事の量や進め方、心身の状態、周囲からのサポートなどに関する数十の質問に選択肢から回答。それに基づき、心身に表れたストレスへの反応やその要因などを項目別に数値化し、受検者に自身のストレス状態に気がせざる。働く人のメンタルヘルス(心の健康)不調の未然防止を目的とした改正労働安全衛生法により、50人以上の県内企業・団体数は14年7月時点で2630だった。16年中のSC実施を報告したのは1290(49%)にとどまった。このほか、改正法施行直後の15年12月に実施した企業・団体も6あり、16年中に実施報告を行った企業・団体を個別にみると、従業員50~99人が696(報告率41%)、

その詳細な分析はこれから。それをふまえて事業者への指導を進めることとしている。企業の労務管理に詳しい旭邦兼・特定社会保険労務士(東京)の「SCは社内規定の整備などの準備が非常に複雑な上、16年はマイナバー、制度導入時期が重なり、人事担当者が多くの分野をかつ持つ小規模な企業ほどSCが後回しになったようだ。SCの未実施は従来業への安全配慮義務を23日頃までに終える予定。その後、機体を約500台離れた駐車場までヘリでつり上げ、保管場所へ運ぶ」としている。

墜落へりを分解・梱包

沢筋に作業台 来週中にもつり上げ

県消防防災ヘリコプター「リアルス」の墜落事故で、県は15日、回収に向けた機体の分解や移動の作業を、14日から松本市の鉢伏山の現場で始めた。発表された。かかる考えだ。

現場には、分解した機体の梱包などを約20平方メートルの作業台も設置された。県は来週中にも、機体をより上げての搬送に取りかかる考えだ。

県消防課によれば、10日に始まった鉢伏山中の国有林伐採と並行して、墜落場所から斜面を下った沢筋に作業台を設置した。12日まで作業台が完成し、14日から機体を分解しながら沢筋を下す作業を開始した。

分解作業は、ヘリの構造に詳しい整備士が立ちあっているほか、県警や運輸安全委員会の担当者も確認しながら実施している。周辺に散乱した機体の破片なども回収が進められているという。県は分解機体の梱包作業



鉢伏山中に墜落した作業台(左)。機体は分解後、梱包してヘリで運ぶ



屋内訓練施設で、ロープを使っての訓練の様子が公開された。同署は、旧庁舎の老朽化や耐震性不足などから建て替えが決まり、同市鶴賀から長野旭町に移転・新築された。新庁舎は1日から使用を開始している。雨天時や夜間も使用可能な屋内訓練施設を備えるほか、女性隊員の仮眠室もつくられた。

中央消防署が開署式
屋内施設の訓練公開
長野市
長野市消防局の中央消防署で15日、開署式が行われ、県内で初めて整備された。

これまで同署があった敷地内には新たに「鶴賀消防署」が置かれ、長野市消防局全体では救助隊と指揮隊が各1隊増となった。

シロフクロウ「ラン」天国へ

須坂市動物園は15日、飼育していたシロフクロウの「ラン」(雌、1歳)一写真、同園提供一が死んだと発表した。同園は16日から約1週間、シロフクロウ舎前に献花台を設け、来園者にお別れの言葉をノートにつづってもらうことになっている。同園によると、ランは15

最大約25センチでうつぶせになって死んでいるのが職員に見えられた。死因は溺死とみられるという。ランは2016年1月、同園で人気者のシロフクロウ「ハク」(雌、4歳)の「お



はよく身を寄せ合って、仲良く遊んでいたという。

長野

長野
松本
諏訪

長野支局
〒380-0821 長野市上千歳町1159
電話026-234-4311 F a x 234-4341
メール naganano@yomiuri.com

松本支局
〒380-0874 松本市大手3-5-20
電話 0263-32-3490

諏訪支局
〒392-0017 諏訪市城南1-2658-2
イトビル3階
電話 0266-52-0987

上田通信部 0268-22-0057
飯田通信部 0265-22-0896
小諸通信部 0287-22-3454
佐久通信部 0267-67-7223
塩尻通信部 0263-54-4711

ホームページ
http://www.yomiuri.co.jp/local/

購読は 0120-4343-81

読売会 237-8855
ながのセンター 226-3230
北長野296-4054 長野東部247-8398
松代・善通 278-8633
南長野284-6991 篠ノ井299-8103
中野中央 26-1585
須坂・小布施 245-0290
更埴 273-5953 上田中央 25-1639
上田北部276-7106 上田西郷 38-7227
真田 72-4880 丸子 42-2223
小諸 41-6355 塩田 53-2318
浅科 87-2135 岩村田 67-2135
野沢・中込 62-2330
南佐久 82-9536 御代田 32-1171
軽井沢 42-3799

【広告】読売信州広告社237-7788
【折込広告】長野I S 251-0841
【読売旅行長野】233-6500

5月17日(水曜日) 旧 4月22日(先勝)

月齢20.6 (正午)

あすの暦

長野	4.39	日出入	4.40
18.49	18.49	18.49	
23.47	23.47	23.47	
9.33	9.33	9.33	
満潮	7.32	干潮	21.52
干潮	2.22		14.33
	14.33		(小潮)

First home

ファーストホームプラスは、現実的な価格で「無垢フローリング・漆喰の塗り壁・高断熱・高機能換気システム」の自然素材住宅を実現します。

天気	長野	松本	飯田	諏訪	軽井沢
午前	晴	晴	晴	晴	晴
午後	晴	晴	晴	晴	晴
夜	晴	晴	晴	晴	晴
降水確率	10	10	10	10	10